

# 北杜

2018  
Vol. 56

## 議会だより

### シリーズ市内の文化財

#### 『史跡梅之木遺跡』(明野町浅尾地内)

梅之木遺跡は、約5000年前から500年間営まれた縄文時代中期の集落跡です。繰り返し建てられた竪穴住居が環を描いて並んでいることから、環状集落と呼ばれます。住居群だけではなく川へ下る縄文時代の道、川べりには住居と土杭も発見されていて、縄文時代の人々の暮らしぶり与生活空間がよく分かる貴重な遺跡です。[平成26年3月国指定]「史跡梅之木遺跡公園」が平成30年4月にオープンしました。



### 9月定例会

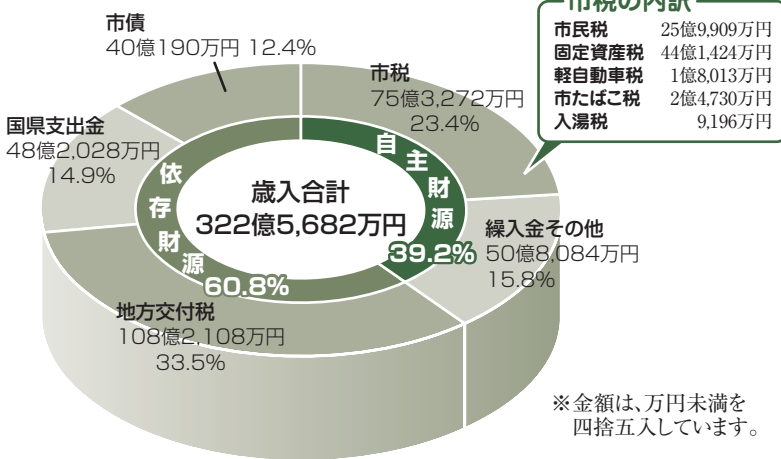
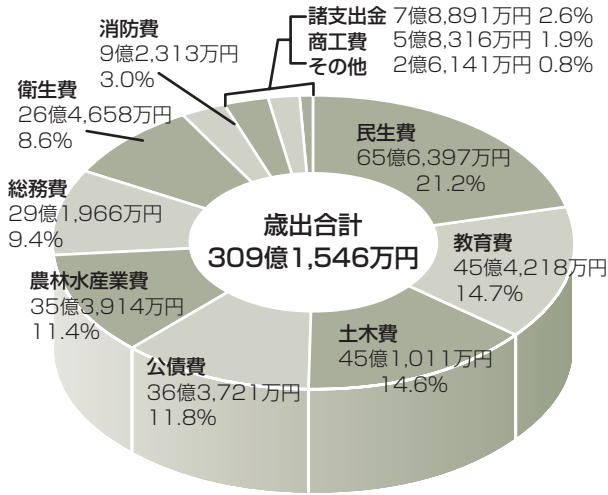


- 議案と審議 ②
- 委員会レポート ⑤
- 決算特別委員会 ⑥
- 市長の所信表明 ⑨
- 会派代表質問 ⑩
- 一般質問 ⑱
- 声のひろば ⑳
- 北杜市ウォッチング ㉒

第3回定例会は、9月4日から9月27日までの24日間の会期で開催し、市長提出の平成29年度一般会計・特別会計決算22件の認定をはじめ、30年度補正予算3件、条例、報告など計38件を審議し、原案のとおり可決しました。  
また、請願1件を採択、意見書1件を可決とし、選挙1件を行いました。

# 可能な市政運営 人が輝く8つの杜づくり～

## 平成29年度一般会計決算 決算認定しました



**基金(預金)の累積残額**  
180億円(合併時比130億円の増)

**市債(借金)の累積残額**  
635億円(ピーク時比374億円の減)

**合併後トータル改善額** 504億円

※金額は、万円未満を四捨五入しています。

### 一般会計決算認定

反対討論 志村 清

借金の返済や基金の積み上げだけではなく、市民の生活や営業、医療や介護子育てなどの支援に財政を振り分けるべき。

賛成討論 福井俊克

財政健全化は、将来の世代に負の財産を残さないためのものである。財政に余裕がある限り、積極的に繰上償還を行うべき。

反対討論 栗谷真吾

財政健全化は図られているが、今の事業を継続しているだけでは市の財政は悪化する。北杜らしさを示すことで移住者呼び、若者が戻ってくる。

賛成討論 秋山俊和

地方交付税が縮減される中で、検討努力している。総合戦略などに基つき、執行した事業をみても、多岐にわたって工夫と努力が見とれる。

反対討論 池田恭務

財政は良くなったが、受けられるはずの行政サービスが、受けられないところがある。市民に納得してもら

う必要があるが、不十分であった。

賛成討論 井出一司

財政の基盤強化に向け効果が出ているが、起債残高は多額であり、持続可能な財政運営が求められる。総合戦略にかかる事業は、評価できるもの。

反対討論 野中真理子

増富地域再生への、市の取り組みが不十分であり、小淵沢駅および駅前広場整備のお金の使い方が、市民目線では理解できない。

反対討論 岡野 淳

水道会計への基準外繰出を含めた繰出金を、減らす道筋がまだ見えない。また、小淵沢駅の東屋の経費など理解ができない。

反対討論 齊藤功文

監査委員により違法な手続きが指摘されている。予算執行上、緊急であれば専決処分でも補正予算を組むことで、決算の見える化にもつながる。行財政運営の適正改善を求める。

賛成討論 内田俊彦

随時監査結果で、議決を経るべきだったとの回答を受け、原因究明をし、善処

し、職員に訓示を行い、自ら減給し、市長は責任を素早くとり謝罪した。職員皆さまの善処に期待する。

賛成討論 加藤紀雄

将来に備えながらも、必要な事業に積極的に取り組んでいる。特に、小淵沢駅舎は長い期間と多額な費用をかけ、住民の意見を聞き、理解・納得して整備された。

※賛成14、反対7で認定

### 特別会計決算認定

反対討論 岡野 淳

▼簡易水道事業特別会計  
一般会計の繰入金金は、28年度より減っているが、32年度に企業会計に移行し、会計を維持していくには及ばない。

賛成討論 内田俊彦

水は命の水である。市民のみんなに安定的に供給し、安価で提供するために、繰り入れするのは当然である。  
※賛成20、反対1で認定

▼国民健康保険特別会計

等20件  
※全員賛成で認定

# 人と人をつなぎ持続

## ～お宝いっぱい健幸北杜

### 平成30年度一般会計補正(第2号)(第3号)予算 9,937万円増額 予算総額は290億4,068万6千円に

#### 一般会計補正 ※全員賛成で可決

##### おもな補正財源

地方交付税	2,675万円	繰入金	400万円
県支出金	5,868万円	諸収入	994万円



大泉分団全国大会へ

##### おもな使いみち

水田農業構造改革対策事業費補助金	3,521万円	農業法人などに散布機などの整備費を補助
地球温暖化対策実行計画策定業務	994万円	温室効果ガス排出量削減の取組計画を策定
小規模治山事業	800万円	白州町下教来石地内の荒廃山地崩壊予防工事
子ども・子育て支援事業計画策定事業	308万円	第2期子ども・子育て支援事業計画策定のため、利用希望把握調査
消防技術向上事業	243万円	全国消防操法大会へ大泉分団が出場
農地農業用施設災害復旧事業費	220万円	台風により罹災した農地・農業用施設の復旧

※金額は、万円未満を四捨五入しています。

#### 特別会計補正 ※全員賛成で可決

新エネルギー事業(第1号)	4,151万円	水道施設マイクロ水力発電施設整備事業
---------------	---------	--------------------

#### 条例

- ▼男女共同参画推進条例の一部改正
- ▼放課後児童クラブ条例の一部改正
- ▼家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ▼工事請負契約の締結・いずみ保育園建設工事(建築主体)
- ▼字の区域の変更(高根町原長沢)
- ※全員賛成で可決

#### その他

- ▼市長の給与の特例に関する条例の制定

- フカサワ・巧光建設北杜市立いずみ保育園建設工事(建築主体) 共同企業体

- 3カ月減給し、源泉所得税納付遅延に伴う損害を補填
- ※全員賛成で可決

#### 報告

- 4億1、666万4千円
- ・清里南部クリーンセンター電気設備更新工事共同企業体
- 1億7、928万円
- ・清里南部クリーンセンター増設工事(機械)
- (株)西原環境首都圏支店

- ▼健全化判断比率
- ▼資金不足比率
- ▼一般会計継続費精算報告書
- ▼専決処分(損害賠償額の決定)

#### 選挙

- ▼奥野山恩賜県有財産保護組合議会議員

- 3億4、884万円
- ・道の駅ごぶちさわ農産物直売施設等整備工事
- 輿水建設・鈴建道の駅ごぶちさわ農産物直売施設等整備工事共同企業体
- 3億2、400万円

- 仲野功允(明野町)
- 小泉正明(明野町)
- 向井忠男(明野町)
- 篠原隆美(明野町)
- 深澤和幸(明野町)
- 清水一恵(明野町)

請願

●教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度堅持を図るための請願書

【趣旨】

- ①計画的な教職員定数改善と、少人数学級の推進。
- ②義務教育費国庫負担制度堅持。
- ③教育条件の格差解消、国の教育予算拡充。

●請願者

・北杜市PTA連合協議会会長 加藤 桃子

・北巨摩地区公立小中学校長会会長 丸茂 哲雄

・北巨摩地区公立小中学校教頭会会長 坂本 満

・山梨県教職員組合北巨摩支部執行委員長 内藤 茂樹

●紹介議員

秋山俊和 原 堅志

清水 進 加藤紀雄

進藤正文 相吉正一

賛成討論 保坂多枝子

国庫負担率が引き下げられ、市の財源で補填しているが、各自自治体に教育格差が生じることは課題である。教育は、人間形成に不可欠で重要。

※全員賛成で採択

意見書

●教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度堅持を図るための意見書

請願の措置を講じるよう、内閣総理大臣および関係大臣に意見書を提出する。

●提出者

文教厚生常任委員長 岡野 淳

※全員賛成で可決

動議

―9月4日提出―

●資格決定要求書

●要求者 岡野 淳

●議員氏名 藤原 尚

●提案理由

3月定例会で設置された、資格審査特別委員会の議論は、市議会の結論が得られていない。改めて議員の資格決定の審査を要求する。

※台風のため、延会

―9月27日審議―

●藤原尚君の議員の資格決定の件

20人の委員で構成する資格審査特別委員会を設置し審査する。

※賛成10、反対10の可否

同数のため議長裁決により可決し、閉会中の

継続審査

―9月27日審議―

●議長不信任の件

●提出者 原 堅志

●賛成者 清水 進

相吉正一

池田恭務

●提案理由

平成30年第2回定例会の最終日に議場が混乱し、流会に至ったことは市民に恥ずかしいことである。混乱の責任は議会を主宰する議長にあるが、今定例会で謝罪すらない。議長としての自覚に欠ける。

●議長信任の件

●提出者 秋山俊和

●提案理由

議長本人の性格が実直で丁寧、議員一人ひとりの発言を大切にし、言い分も良く聞き、公平に進めて真摯にまじめに公務に邁進している。

●不信任賛成討論 野中真理子

定例会流会の全ての責任は、議会を主宰する議長にあるが、謝罪すらく自覚がない。

●信任賛成討論 加藤紀雄

流会には、議長だけでなく全議員に責任がある。議長は、厳しい議会運営の中、常に真摯に取り組み、職務を全うしている。

●不信任賛成討論 志村 清

本会議を再開できない原因を傍聴者に押し付け、流会を招いた議長の責任は重大である。

●信任賛成討論 秋山真一

議員、職員、傍聴者がおかれた立場を理解し、行動していれば流会にならなかつた。議長は、市民に寄り添った行動をしている。

が、すぐに出てくることは納得いかない。除外の法的根拠の説明もない。

●信任賛成討論 千野秀一

不規則発言尽くしの中、議長は整然と法や規則に則り議場の整理に努めたのに、この不信任案である。責任転嫁の極みであり容認できない。

●不信任賛成討論 池田恭務

流会の流れの中で、議長の職責を果たさなかつた。公平・中立な議会運営がなされていない。

●信任賛成討論 清水敏行

傍聴者の特定が可能だったのか。全員退場は、議長の立場では、やむを得なかつた。今後でも中立・公正にやってみてほしい。

●不信任賛成討論 栗合真吾

議員の相反する意見を、議論を重ね探っていくのが議会の役割。議長のもとでは建設的な議論もままならない。

●信任賛成討論 井出司

傍聴者から拍手や声が発せられ、議長は再三注意したが、傍聴者は聞かなかつた。議長の言動や行動に瑕疵はなかつた。

●不信任賛成討論 岡野 淳

私の名前のない資格審査特別委員会の委員名簿

が、慎重な審査と誤りのない判断のため、地方自治法第100条第1項に定められた調査権を、資格審査特別委員会に委任する必要はある。

●反対討論 内田俊彦

100条の目的が明確ではない。弁護士を呼ぶには100条の2の適用がある。罰則、強制力をつける必要はない。

●賛成討論 相吉正一

議員の身分に関わる重要な問題であり、実態を調査・確認し慎重に決定する必要はある。

●賛成討論 池田恭務

前回の特別委員会では、資料が十分に提供されなかつた。100条の調査権付与は、関係者全てにメリットとなる。

●賛成討論 岡野 淳

100条付与により、強い権限で資料請求ができる。居住実態があるのかないのか徹底的な調査ができる。

●賛成10、反対10の可否

同数のため議長裁決により可決

●藤原尚君の議員の資格決定の調査に関する決議

●提出者 野中真理子

●賛成者 栗谷真吾

志村 清

坂本 静

賛否のあった議案 (議長を除く)																	結果						
	栗谷 真吾	池田 恭務	秋山 真一	進藤 正文	藤原 尚	清水 敏行	井出 一司	志村 清	齊藤 功文	福井 俊克	加藤 紀雄	原 堅志	岡野 淳	相吉 正一	清水 進	野中真理子		坂本 静	保坂多枝子	千野 秀一	内田 俊彦	秋山 俊和	
平成29年度一般会計歳入歳出決算の認定	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成29年度簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
藤原尚君の議員の資格決定の件 (資格審査特別委員会委員に20人の議員を指名し選任すること)	×	×	○	○	※2	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	可決 ※3
議長の信任の件	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	※1	○	○	○	○	○	可決 ※3
藤原尚君の議員の資格決定の調査に関する決議案(地方自治法第100条第1項の規定による調査を行うこと)	○	○	×	×	※2	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	否決 ※3

※1: 中嶋議長に代わり保坂副議長が議長となったため ※2: 自己に関する議案のため除斥 ※3: 可否同数のため議長裁決

# 委員会レポート

おもな質疑・討論の内容は次のとおり

## 総務

### 常任委員会

付託された事件1件と、  
請願2件を審査した。

#### ■男女共同参画推進条例の一部改正

問 他自治体の状況は。

答 南アルプス市に規程がある。

問 今後、同様な形で男女共同参画社会を推進していくのか。市が確認できないと、事業主の評価ができないのでは。

答 市でも、男女共同参画を進める上で、事業主の努力が無駄にならない取り組みを検討したい。

※全員賛成で可決

付託された事件2件と、  
請願1件を審査した。

#### ■放課後児童クラブ条例の一部改正

問 市内にある、家庭的保育園の人数や希望者は。

答 0歳児2人、1歳児2人、2歳児1人である。家庭的保育園設置についての問い合わせはない。

問 国が、基準を改正した趣旨は。

答 都会の待機児童解消が根本にある。

※以上2件全員賛成で可決

## 文教厚生

### 常任委員会

付託された事件2件と、  
請願1件を審査した。

#### ■家庭的事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

問 OEC Dは平均で、1クラス当たり24人。日本の平均は31人である。

答 少人数学級推進について、北杜市の現状を踏まえての提出か。

問 35人以下になるよう取り組んできた。少子化で児童生徒が減少しているが、まだOEC Dより多い。OEC Dレベルまでにすることが重要である。

※全員賛成で採択

## 経済環境

### 常任委員会

付託された事件1件を  
審査した。

#### ■字の区域の変更 (高根町原長沢)

※全員賛成で可決



●【請願】  
■「治安維持法犠牲者国家賠償法(仮称)の制定を求める意見書」の提出を求める請願

●【請願】  
■北富士演習場での日英共同訓練に反対する意見書の提出を求める請願

●【請願】  
■治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟山梨県北杜支部支部長 中川 量幾

●【請願】  
■北杜9条連絡会世話人 深澤 久

平成29年度決算特別委員会

平成29年度の決算を審査するため、決算特別委員会を設置し、委員長に清水進議員、副委員長に秋山真一議員を選任しました。

付託された平成29年度一般会計および特別会計の決算22件を審査し、原案のとおり認定した。

一般会計

本会議中、一般会計決算認定の総括質疑で、2款1項5目会計管理費の22節補償、補填及び賠償金の支出について、随時監査の要請があり、休会中に随時監査が実施され、「源泉所得税納付事務に關して、適正な納付手続きが遂行されていなかったと認めざるを得ない。」

また、22節の支出に關しては、議会の議決・報告がされないままに執行されており、違法な手続きといわざるを得ない。事務の執行にあたっては、関係法令などを遵守し適正な処理をするよう細心

の注意を払うとともに、複数職員のチェックなどにより再発防止に万全を期されたい。」と、随時監査の結果報告があった。これを受け、市長より、源泉徴収所得税の税務署への納付遅滞による追加納付金の支出について、議会への報告・説明がな

かったことに対し、お詫びの言葉があつた。

おもな質疑・答弁

**問** 市民税などの調定額が、予算額より多い。29年度の傾向は。

**答** 固定資産税は、家屋の新築分で増となり、市民税は、中高所得者が増えたのが原因。法人税は

事業収益などにより減少。  
**問** 地域課題早期対応事業は、各町の工事規模が違うが、基準はあるのか。  
**答** 現地確認を行い、緊急性の高いものを優先。



高根東小プール完成

の補助金である。  
**問** すたま自然健康村施設指定管理料に、問題はなかつたか。  
**答** 協定書の基準を逸脱したため、業務改善指示を出した。30年度も公の施設から、市や議会にFAXがされた。

**問** 消費税が、社会保障分野の財源に充てられているが。

**答** 国保・介護・保健衛生などに充てられ、運用に良い影響を与えている。

**問** 特定診療科施設開業補助金は、任意の補助か。  
**答** 少子化対策として、市内に小児科・産婦人科を開業する際の、市独自

の補助金である。  
**問** 現在19人が活動。36人の隊員の内、18人が定住した。

**問** 台風の緊急対応で、災害認定を受ける前に必要となり充用した。県の査定を受け、その後工事対応が適切なため、委託料から工事費へ流用した。  
**問** 農業地域おこし協力隊は、継続し活動しているか。定住者はいるか。

**答** 現在19人が活動。36人の隊員の内、18人が定住した。

**問** お試し住宅の内容は。効果はあつたか。  
**答** 総合戦略の事業で、市内を体験し、移住定住を促進。59件の利用があり、内18世帯、35人が移住した。

**問** 前倒しとなった、就学援助費入学準備品対象者数は。

**答** 30年度に入学の小学生21人。中学生29人。

**反対討論** 志村 清  
借金の返還や基金の積み立てだけではなく、市民の生活や、医療や介護、子育ての支援にもっと使

**賛成討論** 福井俊克  
本市の重要課題に的確に対応し、市政の発展を目指し、厳しい財政運営に努力した成果であり、



お試し住宅で移住・定住を促進

**反対討論** 野中真理子  
増富再生計画に、市の責務が感じられない。また、小淵沢駅工事に多額の税金が投入されたが、満足度・利便性が低い。

**賛成討論** 秋山俊和  
実質公債比率など改善され、健全に履行されている。所得税事務に關して報告されなかつたことは遺憾であるが、全力で対応することに期待する。

反対討論 齊藤功文

監査委員により違法な手続きが指摘されている。緊急であれば専決処分です。補正予算を組むことが求められる。行財政運営の適正改善を求める。

賛成討論 内田俊彦

説明議決を省いたことは遺憾だが、市長減給の条例提出など、スピーディーな対応は高く評価する。予備費の充用も台風災害復旧のためすぐに行い、規則に反していない。

反対討論 池田恭務

予算額が妥当か。費用対効果や振り返りが十分であったか。市民目線・市民感覚で見た時、十分といえない内容と考える。※賛成14、反対7で認定

特別会計

■国民健康保険特別会計 (歳入) 76億3、105万円 (歳出) 69億4、737万円

■後期高齢者医療特別会計 (歳入) 6億922万円 (歳出) 6億809万円

■介護保険特別会計 (歳入) 41億2、257万円 (歳出) 40億2、474万円

■居宅介護支援事業特別会計 (歳入) 1、799万円 (歳出) 753万円

■簡易水道事業特別会計 (歳入) 21億778万円 (歳出) 20億8、790万円

問 中长期整備計画およびアセットマネジメント策定業務の内容は。

■下水道事業特別会計 (歳入) 27億5、607万円 (歳出) 27億2、310万円

■農業集落排水事業特別会計 (歳入) 9億56万円 (歳出) 8億8、520万円

■白州診療所特別会計 (歳入) 1億992万円 (歳出) 1億207万円

■土地開発事業特別会計 (歳入) 549万円 (歳出) 549万円

問 全区画売却後の、特別会計の扱いは。

問 上下水道事業地方公営企業会計移行支援業務



社会参加いきいき介護予防

■新エネルギー事業特別会計 (歳入) 1億2、661万円 (歳出) 1億1、096万円

■辺見診療所特別会計 (歳入) 1億3、562万円 (歳出) 1億1、720万円

問 NHK受信料の記載を。AEDを購入しているか。

■白州診療所特別会計 (歳入) 1億992万円 (歳出) 1億207万円

■土地開発事業特別会計 (歳入) 549万円 (歳出) 549万円

問 全区画売却後の、特別会計の扱いは。

- 明野財産区特別会計
■須玉財産区特別会計
■高根財産区特別会計
■長坂財産区特別会計
■大泉財産区特別会計
■小淵沢財産区特別会計
■白州財産区特別会計
■武川財産区特別会計
■浅尾原財産区特別会計
■病院事業特別会計

※一般会計を除く21件は全員賛成で認定

監査委員の決算審査意見

代表監査委員 三井 英雄
監査委員 平井 求
監査委員 千野 秀一
平成29年度会計を監査した結果、適切に収入支出がされており、正確なものと認める。

## 資格審査

### 特別委員会

9月4日の本会議において、資格決定要求書が提出され、資格審査特別委員会が設置された。同日は、台風により延会となったため9月27日の定例会最終日において、委員に要求議員と被要求議員を除く20人の議員が選任され、選挙により委員長と副委員長が決定した。

### 議員の資格決定の件について

- 要求議員 岡野 淳
- 被要求議員 藤原 尚
- 委員長 栗谷真吾
- 副委員長 千野秀一



## 組合議会報告

### 峡北地域広域 水道企業団

#### 第2回定例会

8月24日に開催され、決算認定など4件について審議し、原案どおり可決・認定されました。

#### ■ 認定

▼ 水道用水供給事業会計末処分利益剰余金処分及び決算認定

#### ■ 報告

▼ 水道用水供給事業会計経営健全化審査

#### ■ 平成30年度補正予算

▼ 水道用水供給事業会計(第1号)

#### ■ 同意

▼ 監査委員の選出  
保坂 芳子

## 議会のうごき

### 8月

- 2日 中北・峡南地区議会議長会
- 9日 議会運営委員会協議会
- 10日 山梨県市議会議長会議員合同研修会・全員協議会
- 17日 峡北地域広域水道企業団全員協議会
- 21日 全員協議会
- 22日 議会運営委員会協議会
- 24日 峡北地域広域水道企業団定例会
- 28日 議会運営委員会協議会・全員協議会
- 29日 市議会議長会議長・局長会議

★議会行政視察受入1件  
(栃木県那須烏山市)

### 9月

- 4日 定例会本会議(開会)
- 6日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
- 10日~13日 決算特別委員会
- 14日 全員協議会、広報編集委員会
- 18日 総務常任委員会
- 19日 文教厚生常任委員会・決算特別委員会
- 20日 経済環境常任委員会・議会運営委員会・全員協議会
- 25日 定例会本会議(代表質問)
- 26日 定例会本会議(代表質問・一般質問)

- 27日 定例会本会議(議案審議)・議会運営委員会・資格審査特別委員会

### 10月

- 3日 羽村市議会議員との交流事業
- 5日 全員協議会
- 10日~11日 文教厚生常任委員会視察研修
- 12日 広報編集委員会
- 12日~14日 韓国抱川市文化交流事業
- 16日~17日 経済環境常任委員会視察研修
- 18日 広報編集委員会
- 19日 山梨県市議会議長会定期総会
- 22日 峡北広域行政事務組合全員協議会  
後期高齢者医療広域連合組合議会全員協議会・定例会
- 23日 広報編集委員会
- 24日 市政報告会
- 25日~26日 総務常任委員会視察研修
- 29日 峡北広域行政事務組合定例会
- 30日~31日 峡北広域行政事務組合視察研修

★議会行政視察受入7件

(栃木県芳賀町・群馬県前橋市・栃木県那珂川町・和歌山県紀の川市・埼玉県滑川町・千葉県山武市・岩手県花巻市)





# 渡辺市長の所信表明

## 災害はいつやってくるかわかりません 「自らの命は、自ら守る」という 「自助」「共助」が必要です

記録的な豪雨や国内の最高気温を更新する猛暑が続く、大泉町では猛暑日が観測史上最多を記録しました。こうした過去に例のない気象状況により、農作物への影響も心配されましたが、ほ場は黄金色に輝いており、今年も良質な「梨北米」の収穫が期待されます。

### 市政の状況

#### 1 子育て支援

子育て支援、環境整備の指針となる「北杜市子ども・子育て支援事業計画」が、平成31年度をもって終期を迎えることから、第2期計画の策定を進めてまいります。「子どもにとっての幸せ・安心」という視点を強化し、本年度から子育て世帯へのニーズ調査を進めます。

#### 2 北の杜フードバレープロジェクト

7月に物流会社と連携し、都内の住宅団地での北杜市産農産物の移動販売をスタートしました。酒蔵や観光地を巡る「酒ツリーズム」の実施や、販路開拓・農業研修受け入れなど、官民協働により事業を推進します。

#### 3 水の山映像祭事業

「虎をかぶりて、駆けたく」の映像制作が始まり、市内各所で撮影を行っています。11月に小淵沢女神の森セントラルガーデンで行われる「水の山」感謝祭で上映を行います。映像を通じ市の新たな魅力発信が図られることを期待しています。

#### 4 公宮アカデミー事業

夏休み中に市内小学校へ通う3年生以上の児童を対象とした「北杜ふるさと探検隊事業」に児童59人が参加し、「文化・歴史施設コース」と「自然環境・科学コース」を企画し、市議会の議会体験、企業型農業生産法人の見学などを行いました。また、中学生のための

学習応援事業「ほくと学び舎」を市内8会場で実施し、延べ279人が参加しました。

#### 5 統合高根東小学校交流事業

ふるさと親善大使のフロラリードライバー篠塚建次郎さんを迎え、「パリ・ダカールラリー」を通じて、これまでセネガル共和国の子ども達のために、小学校を建設したほか、文房具を届ける活動の話を伺いました。レースへの参戦を機会に、3校の児童達が文房具を集め、篠塚さんに思いを託すこととなりました。3校の学校統合へ向けた交流を期待します。

#### 6 青少年育成事業

市内中学校の2年生、男女36人が、ジュニアリーダーの資質を高めるため、「夏季中学生キャンプ」が県立八ヶ岳少年自然の家で行われました。今後も学校や地域と連携し、心身ともにたくましい北杜っ子の育成に努めていきます。

#### 7 スポーツ・芸術・文化事業

スポーツでは、バスケットボール女子日本リーグに参戦する山梨クイーンビーズが、高根体育館で日立ハイテク・クーガーズと対戦しました。また、日体大との連携事業の体操教室を開催し、夏期巡回ラジオ体操も行われました。

芸術では、第2回八ヶ岳音楽祭を開催し、田舎にいながら一流の芸術・文化に触れられる事業を展開し、引き続き「二流の田舎まち」を目指します。

#### 8 台風接近や集中豪雨の状況と対応

台風の接近やゲリラ豪雨に伴う土砂の押し出しによる、国道141号線の通行止めや、砂利道の陥没、田の法面崩落、市道の崩落、倒木による停電などの被害もありました。幸いにも人命に関わるような大きな被害はありませんでしたが、今後とも万全を期してまいります。

#### 9 総合防災訓練

重点地区である須玉穂足スポーツ公園では、雨の中の訓練となりました。雨の中で、各関係機関や市民団体の方々の御協力の中、多くの市民の皆様が御参加いただきました。集中豪雨などによる災害は、いつやってくるかわかりません。今回の雨の中の訓練により、「自らの命は、自ら守る」という「自助」「共助」の必要性が養われたと同時に、市民の皆様の更なる防災意識の向上が図られたものと考えております。



夏期巡回ラジオ体操in北杜



ともにあゆむ会

さいとう こうぶん  
齊藤 功文

## 太陽光発電設備設置に関する条例化は

### 検討委員会の提言を尊重する

- ①「北杜市太陽光等再生可能エネルギー発電設備設置に関する検討委員会」での審議、進捗状況は。
- ②条例化に向けての市長の考えは。
- 建設部長** ①設備に関する諸課題、推進と規制について9回の会議で議論。市内施設の視察も実施した。
- ②検討委員会の提言を尊重する中で検討する。



検討委員会・提言まとめ

### 問 小中学校統廃合問題は

- ①高根北小学校の活用策は。
- ②高根清里小学校の活用策は。
- ③地域住民の意見・要望の把握は。
- ④教育関係・企業などからの問い合わせは。
- ⑤活用策を検討する組織は。
- ⑥中学校統廃合計画の進捗状況は。
- ⑦市民や地域委員会の意見は。
- ⑧今後の方針とスケジュールは。
- ⑨市長の「選挙公約」と現在の考えは。

### 答 慎重に進める

- 市長** ⑨総合教育会議の方針に沿って検討していく。
- 教育長** ⑥5月の地域委員会連絡協議会で各地域の意見について報告を受け、先月の総合教育会議で検討した。
- ⑦「少子化に伴い統合もやむを得ない」との意見が多い反面、答申の見直しを含め慎重な意見も少なくない。



高根清里小・校舎をどう生かすのか

かった。

- ⑧総合教育会議の方針に沿って、慎重に進める。
- 企画部長** ①文化財の収蔵庫として検討している。
- ②学校施設以外の活用法を検討している。
- ③学校は地域住民の愛着が深い。意向を尊重し進める。
- ④外部からの問い合わせはない。
- ⑤関係部局の代表で庁内検討会を構成している。

### 問 公共事業と所有者不明土地問題は

- ①固定資産台帳の整備状況は。公表はいつか。
- ②29年度決算書中「財産に関する調査」に、公有財産

として土地（地積）と建物（延面積）がある。固定資産台帳との整合性は図られているのか。

③道路整備等を進める上で、所有者不明土地の取扱いは。

④34年台風災害で流出した農地等の地籍調査の進捗は。

⑤所有者不明土地への課税など、行政の対応は。

### 答 固定資産台帳システムを整備中

- 企画部長** ①新システムへのデータの移行は終わった。本年度中の運用開始に向け、利便性を高めるための作業を行っている。年度末予定システムと連携した後、決算書に反映させる。このため29年度決算書とは、整合性が図られていない。30年度決算から整合性を取る。
- 建設部長** ③課題解決には多大な労力・費用を要する。可能な場合に限り、設計変更での対応も行っている。
- ④国土調査時の対象外として処理している箇所については、原則、関係者が法務局に手続きをする。市内に白州町・須玉町地内にある。



**総務部長** ⑤納税義務者の現住所等の把握に努める。

**問 水道事業は**

①水道事業に関するアンケート結果をどう生かすのか。  
②水道施設などの固定資産台帳の整備状況は。  
③地方公営企業法適用に向けて、財源確保、危機管理、料金適正化に取り組み基本方針とスケジュールは。  
④経営・財務情報の「説明責任の履行」は。  
⑤移住者など新規加入者の個人負担の運用基準見直しは。  
⑥マイクロ水力発電施設整備事業は。  
⑦現在の水道料金は何を算定の基礎としているか。  
⑧料金体系が2体系だが。  
⑨「地域的な統一」を図る中、地域的とは何を指すか。  
⑩旧町村別に原価計算をすべきではないか。

**答 経営戦略を策定中**

**生活環境部長** ①地方公営企業法適用化に向けた取り組みに活用する。  
②データ整理は昨年終了した。財務会計への移行や仮稼働を経て、整備を完了させる。  
③基本計画である経営戦略を現在策定中。  
④市の広報紙で収支の概要を説明している。市簡易水道運営委員会においても財務内容などを説明している。  
⑤移住・定住施策は従来通り推進していく。  
⑥須玉第2減圧槽において、マイクロ水力発電所の建設を決定した。峡北地域広域水道企業団と連携し進める。  
⑦償還金などを対象に算定した。新料金算定は整備された固定資産台帳を生かす総括原価計算による。  
⑧企業団の用水給水エリアとそうでないエリアである。  
⑨各町別の料金を2系統の料金設定で統一した。  
⑩必要性を十分見極めながら進める。

**問 ブロック塀の安全対策は**

①市内の公共施設、通学路のブロック塀の安全点検の調査結果は。

**答 調査検討中**

②各学校で作成している通学路マップに、ブロック塀は明示されているのか。  
③一般家庭等のブロック塀の安全対策は。危険診断・撤去・改修などへの補助制度創設は。  
④ブロック塀の安全基準について、防災訓練・自主防災組織・消防団などについての啓発は。

**問 (仮称)教育支援センターは**

①3月定例会で、不登校児童・生徒支援を目的とした教育支援センターの開設準備経費が計上された。進捗

**答 計画どおり進捗**

①4小学校の8カ所について調査中。  
②危険箇所を表記している10校のうち1校のみ。  
③国・県などの動向を注視して検討したい。



来年4月開設 教育支援センター

**問 地域資源を生かし**

①5月認定の日本遺産「星降る中部高地の縄文世界」を生かす事業計画と国から



縄文土器収蔵・展示の考古資料館

**答 有効活用にも努める**

の支援は。  
②市内指定文化財の整備と日本遺産は。  
③案内看板やガイドブックの外国語表記は。  
④文化財と周辺環境や景観との調和は。

**市長** ①認定後設立された甲信縄文文化発信・活性化協議会に、32年度までの3年間、合計7千万円の補助金が交付される。協議会では、現在、実施計画を策定している。  
②日本遺産の構成資産。市内指定文化財整備にとっても追い風。  
③多言語表記が必要。検討する。  
④市条例に基づき、関係者の理解を得て取り組む。



党 明 公  
進藤 正文

## 働き方改革は

## 育児休業日数が大幅に増えた

- ① 技術職などの育成と業務一元化は。
- ② 臨時職員の待遇は。経験・スキルの考慮は。
- ③ 総合的判断に基づく職員配置。年功序列の見直しは。
- ④ イクボス宣言の実情と効果の検証は。

① 技術職などの育成と業務一元化は、総合的に判断する。

② 6つの取り組み事項の揭示、定時退庁などに努めている。

**総務部長** ② 勤務実態などの統一的な把握に努め、32年度からの「会計年度任用職員制度」導入に備えている。

④ 育児休業の平均取得日数が404日から869日に増加。

## 問 学校教育は

- ① 児童生徒の個性重視は。
- ② 協調性の育成は。
- ③ 教師と児童生徒の信頼関係は。
- ④ 教師と保護者の信頼関係は。
- ⑤ 保護者同士の信頼関係は。
- ⑥ 教育現場での課題解決に向けた配慮は。

## 答 子どもの成長を一番に考える

**教育長** ① ② 個に応じた指導、社会性の育成の両面を考慮して「原っぱ教育」に取り組んでいる。

③ 教職員が子ども一人ひとりに寄り添い、共に考えようとする姿勢が、信頼関係を築く上で重要。

④ 役割の違いと共通点をお互いに理解することが大切。

⑤ 教育方針の違いを尊重し、協力してほしい。

⑥ 子どもの成長を一番に考え、保護者、地域、学校が一体となって課題を解決していきたい。

## 問 公共施設の省エネ対策は

- ① 冷暖房の効率を改善するための庁舎修繕は。
- ② 省エネ対策は。
- ③ 地球温暖化対策の実行計画は。

## 答 高断熱化など推進

**市長** ③ 本年度中の策定を予定している。

**企画部長** ① 一部の窓に遮熱板を取り付け、緑のカーテンを設置。今後建設する施設は、ペアガラスや断熱材を用いた壁構造にする。

**生活環境部長** ② 照明機器のLED化、クールビズなどに取り組んでいる。

## 問 防災・減災対策は

- ① ハザードマップの周知は。
- ② 要配慮者の名簿作成、個別計画の課題は。
- ③ 避難情報の発信は。
- ④ 要配慮者の避難対応は。
- ⑤ 防災ブックの活用促進は。

## 答 情報提供を充実する

**総務部長** ① 県の土砂災害警戒区域の見直しなどに応じて、随時改定し周知に努める。

② 現在、219人が登録。平時からの名簿提供の同意が全体の約1割しかないことが課題。

③ 3段階の避難情報を発令する。状況により、消防団などのマンパワーによる周知も行う。

④ 個別計画のない人の場合は消防団などが対応する。

⑤ 防災訓練での活用などを呼び掛けるとともに、ハザードマップの掲載についても検討する。



防災の備えは生活の一部に!



自衛隊北富士演習場

## 撤回要望は行わない

## 北富士演習場の「日英訓練」は許されない



日本共産党

しむら 志村

きよし 清

9月末から自衛隊と英国陸軍の共同訓練が計画されている。演習場使用協定は、米軍との訓練についての協定だ。例外として認めると、今後も歯止めがきかない。

①市長は使用協定との関係でどう評価しているのか。  
 ②受け入れ決定の議論と説明は尽くされたと考えるか。  
 ③計画撤回を求める考えは。

**市長** ①②③訓練受け入れの決定は、報道で承知しているが、私が評価するもの

ではないと考えている。訓練の実施に当たっては、地元の協議など必要な手続きがなされ、議論や説明がされたものと思われる。計画撤回の要望をする考えはない。

**問** 「公共交通網」エリアごとの検討は

①エリアごとの地域公共交通運営委員会の協議内容は、デマンド方式を望む声が多いのでは。  
 ②高齢者など実際に利用する市民要望の把握は。  
 ③「前回の試行はダメだった」の評価は一面的。住民の意見を十分反映させるため、スケジュールの見直しは。

**答** 地域、事業者との合意が前提

**市長** ①4つのエリアとも、停留所方式のデマンド運行の意向が強い。  
 ②各エリアの運営委員会は、高齢者へのアンケート調査など、意向把握に努めており、市としても支援している。

**企画部長** ③地域の足の確

保には、交通事業者の協力は不可欠。デマンドバス実証運行の状況などの情報を共有しており、運営委員会にも参画していただいている。新たな公共交通の構築には、地域と交通事業者との合意形成が大前提となる。運行時期については、柔軟に対応したい。

**問** 全国学力テストへの対応は

①全国学力テストの評価、結果分析は。  
 ②学校別などの結果公表はすべきではないと思うがどうか。

**答** 各校が分析結果を活用

**教育長** ①児童生徒の学力や学習状況を把握し、教育施策に反映させ、学校現場の指導充実や改善に役立っている。本市の小中学校は、おおむね全国や県の平均正答率を上回っている。学習環境や生活習慣の調査においても、おおむね良好な状況にある。

②学校名は公表せず、市全体の結果を取りまとめ分析

したものを「基礎資料」として各校に提供し、教育活動に活用している。

**問** 介護保険料滞納者への差し押さえは

①滞納の状況は。差し押さえ件数と給与、預金、年金などの種別は。  
 ②国税の「換価の猶予」などの措置はできないのか。最後のよりどころである年金の差し押さえはやめるべきだ。

**答** 相談に応じている

**総務部長** ①29年度末、現年度分と過年度分合計の未納額は974万円。滞納者数は296人。差し押さえは、預貯金31件、年金3件、国税還付金1件。  
 ②生活困窮など一定の要件に該当する場合適用される生活維持ができるよう相談に応じ、対応している。



## 明政クラブ

あい よし しょう いち  
相吉 正一

### 市職員の働き方改革は

### 全庁的に取り組む

- ①長時間労働の是正と臨時職員の待遇改善は。
- ②時間外勤務と年次有給休暇取得は。
- ③職場のコミュニケーションづくりは。
- ④時差出勤制度の導入は。
- ⑤総務課人事室の役割は。
- ⑥保育士職員の正規、臨時の比率と課題は。

「度」に合わせ、臨時職員の待遇改善を検討する。

③メンタルヘルスなどの研修会の開催、産業カウンセラーによるフォローも実施している。

⑤有給休暇を取得しやすい環境づくり、悩み相談、定時退庁のチェックなどを行っている。

**総務部長** ②年休は正職員20日、臨時職員12日。29年度の平均取得日数は、(正)10・4日と(臨)



改修が必要な市営住宅

- 10・7日。会計検査や水道管故障対応などの特殊事情を除き、過重労働はない。
- ④現時点では考えていない。
- 福祉部長** ⑥正職員82人、臨時職員77人。3歳児未満の入園が増加し、さらなる人材確保が課題。

### 問 住宅政策の現状と今後は

- ①市営住宅の戸数・入居率、払い下げは、建設計画は。
- ②長坂高松団地の建て替え、耐震化は。
- ③退去に該当する高額所得者と指導は。
- ④空き家を借り上げ、市営住宅として活用する考えは。
- ⑤今後の市営住宅に対する需要見込みは。

### 答 需要を把握し対応

**建設部長** ①29年度入居率94・7%、1、179戸。耐用年数経過後の建物は安全性を考慮し払い下げない。移住促進お試し住宅など5事業を計画している。

- ②現在、建て替え計画や大規模改修計画はない。
- ③7世帯に対し、制度説明を行っている。
- ④取り組む予定はない。
- ⑤県の検討結果を参考にしたい。

### 問 防災・減災は

- ①災害時の避難体制と周知は。
- ②地域特性への配慮は。自主防災組織は。
- ③ため池などの決壊危険箇所点検、耐震化は。
- ④要支援者・災害弱者への情報伝達は。

### 答 最優先課題

**総務部長** ①防災無線、エ

### 問 障害者の雇用は

本市の障害者雇用の実態は。法定雇用率は。

### 答 適正に行われるべき課題

**総務部長** 6月1日現在、市の障害者雇用率は2・35%で、法定雇用率の2・5%を下回っている。「障害者職場体験実習」の市役所での受け入れや、障害者枠としての雇用を検討したい。



## ほくと未来

かとうのりお  
**加藤 紀雄**

### 防災対策は

### 喫緊の課題

- ①北杜市地域防災計画の基本的な考えは。
- ②具体的な施策は。
- ③「非常備消防団」の活動と訓練は。
- ④土砂災害特別警戒区域などの現状と対策は。

門家が地域へ出向き、防災・減災を指導する「出前塾」や地域減災リーダー育成事業を始めた。

**総務部長** ③火災予防や消火活動、除雪、行方不明者の捜索、水防活動などを活発に行っている。日ごろからの訓練に励み、大泉分団は県消防団員操法大会で優勝した。平成29年度には、女性消防隊を立ち上げ、啓発活動や総合防災訓練などきめ細やかな対応に努めている。



土砂災害防止の新設・えん堤

**建設部長** ④土砂災害警戒区域は424カ所、このうち、土砂災害特別警戒区域が371カ所。今後も県と連携し、市民の生命・財産を守るため、砂防事業、河川改修事業などを引き続き実施していく。

### 問 子育て支援策は

今年の成人者は499人。昨年の出生者は208人。20年間で大幅に減少している。市の継続と発展のため、子育て支援施策の推進が望まれる。

①保育料の第2子以降完全無料化が実施され10年。成果と今後の方針は。

②子育てマイホーム補助金

の成果は。5年間の期限後の32年度以降の方針は。

③ほくとハッピーワーク事業の成果と今後の方針は。

### 答 保育料第2子以降完全無料化は継続

**市長** ①20年度と比較して29年度実績は、全体の入园率が68・1%から75・8%に、3歳児未満も35・2%から55・6%に増加した。本市の魅力ある子育て支援施策として今後も継続していく。

**福祉部長** ②市内302件、市外120件。5億4千万円を補助。利用した世帯人口は1、487人。本市への移住・定住を促進し、地域活性化が図られた。今後の方向性は、総合戦略重点プロジェクト全体の評価・検証を行う中で、第三者機関の「ふるさと創生会議」などの意見を聞き検討する。

③25年度は若年者、昨年度は移住希望者と対象者の拡大を図った。3年間の実績の平均は、支援対象者数542人、就職者数282人。今後もハッピーワークと連携し、きめ細やかな支

援に務める。

### 問 教育環境の整備は

①小学校への冷房設備は。

②学校でのいじめの現状と対処方法は。

③中学校の運動部活動の現状は。

### 答 いじめの早期発見に努める

**教育長** ①エアコンは12月補正予算で事業費を計上、整備工事が完了し2学期から稼働している。附帯決議に基づき、トイレ、遊具、保健室などを前倒しで改善した。

②市独自に年2回の「学校生活意識調査」を全小・中学校で実施するなど、いじめの早期発見に取り組んでいる。教職員間の情報共有、保護者や学校関係者の理解に努めている。

③生徒のスポーツ傷害の予防や教職員の多忙化軽減の観点から、週2回以上、平日は少なくとも1日の休養日を設けるよう指導。顧問が年間・月間の活動計画を作成、安全で効率的な部活動の実現に取り組んでいる。



北杜クラブ  
ふじ はら ひさし  
藤原 尚

## 災害対策は

## 県と連携して推進

今年、日本に接近する台風が多く、記録的な大災害を各地にもたらした。本市も険しい山、急流が多い。8月には、国道141号線が土砂の流出で12時間にわたり通行止めになった。市の防災対策はあらためて見直す必要がある。

①須玉町江草地区の県道葎崎増富線における、法面崩落への対応は。  
②高根町長沢地区の国道

141号線、土砂流出の応急措置と今後の対応は。  
③市内の土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域の数と整備状況は。  
④避難勧告などの判断基準は。  
⑤国・県、市内の情報伝達と連携は。  
⑥災害発生時の職員配備体制は。  
⑦避難所の非常食などの備蓄は。



法面に積み上げられた土のう

**建設部長** ①道路管理者の県により、5月中旬から崩落土砂の撤去、大型土のうによる土留め、ラス張りともルタル吹付による法面保護などの応急工事が行われ、6月上旬に完了した。本復旧に向け準備中。

②県が土砂撤去や大型土のうによる土留めなどを行い、経過を観察している。国道141号線は脆弱で、雨量規制による通行止めを生じる恐れがあるため、緊急時の代替え路線は必要不可欠。国・県に強く要望する。

③指定された警戒区域は424カ所、その内、特別

警戒区域が371カ所。県では特別警戒区域の防災対策として、急傾斜地崩壊対策事業を2カ所で実施している。市は工事費の5%から10%を負担。その他、砂防事業6カ所、河川改修4カ所、護岸などの災害復旧事業4カ所を予定している。

**総務部長** ④災害対策基本法により、避難準備・高齢者など避難開始、避難勧告、避難指示の3段階が定められている。本市の発表基準は、第1段階は水防団待機水位、第2段階は氾濫注意水位、第3段階は氾濫危険情報や避難判断の水位を目

安にしている。本市独自の取り組みとして、第1段階の前でも洪水警報が発令された場合などに、状況に応じて早期避難体制をとる。

⑤部局長で構成する災害対策本部員会議を開き、情報を一元管理する。緊急時には、県や気象台とのホットラインにより迅速な対応を図る。

⑥大雨注意報が発令された時の「配備準備」、洪水注意報や大雨警報が発令された時の「第1配備」、洪水警報などが発令された時の「第2配備」、大規模災害の発生、または恐れのある時の「第3配備」と、4段階の配備体制をとって該当職員が対応する。

⑦総合支所8カ所と学校など4カ所に分散して配備。水1万7千リットル、食品2万8千食分、乳幼児用品も保管している。

**問** 上下水道の公営企業化は

①施設整備の効率化や資金投資の平準化を目的とした「北杜市水道施設中長期整備計画」の進捗状況は。





**市長** ③行財政改革アクションプランにより、毎年度、市債発行額を元金償還額の範囲内とし、抑制に努めている。8町村合併後の18年度末の3事業合計市債残高約475億円は、昨年度約365億円となり約110億円減少した。しかし、一般会計も合わせた市全体の市債残高、約635億円のうち、当該3事業が占める割合は、約6割と依然として高い。今後も、財政健全化を図りながら、市民生活に必要な行政サービス

## 【答】施設整備と財政健全化に努める

②維持管理費の節減による経営効率化を踏まえた処理場統合など「特定環境保全公共下水道事業計画」の進捗状況は。  
 ③起債残高の削減、財政健全化は。  
 ④一般会計からの繰り入れの考えは、地方公営企業移行においても変わらないとのことだが、経費節減や効率化・健全化を図る事業経営の取り組みは。  
 ⑤上下水道使用料見直しは。

④昨年4月から、料金徴収などの業務の民間委託を行うとともに、組織再編による職員削減、人件費の抑制に努めている。修繕費や委託料などの維持管理業務の内容を見直し、コスト削減を図っていく。  
 ⑤独立採算制が原則。能率的な経営の下、適正原価の回収が必要だ。32年度からの公営企業会計適用に向け、固定資産台帳をはじめ、貸借対照表や損益計算書など

スの水準が維持できるように取り組んでいく。  
**生活環境部長** ①長期的視点に立った「アセットマネジメント」を構成する直近10年の整備計画。耐塩素性病原生物への対応、管理用道路がなく維持管理が非効率な施設、老朽化した施設などを踏まえ、32年度から新規の整備事業が実施できるよう調整する。  
 ②7年間で実施する計画。7月、全13処理区のうち、統合される2処理区を除く、11地区の「下水道事業計画策定業務」を委託した。基礎調査を終え、汚水管渠の計画を検討している。

**市長** ④⑤8町村が合併した本市では、類似施設が多く、市民一人当たりの施設

## 【答】施設の特性を踏まえて検討する

①小学校へのエアコン設置の進捗状況は。  
 ②追加工事の発生は。維持管理などの課題は。  
 ③中学校へのエアコン整備は。  
 ④本庁舎や総合支所などの中核施設の統廃合は。  
 ⑤その他の公共施設の統廃合は。

8町村が合併した本市は、361と多くの公共施設を保有している。施設の重複・偏在や老朽化の課題は。  
 ①小学校へのエアコン設置の進捗状況は。  
 ②追加工事の発生は。維持管理などの課題は。  
 ③中学校へのエアコン整備は。  
 ④本庁舎や総合支所などの中核施設の統廃合は。  
 ⑤その他の公共施設の統廃合は。

## 【問】学校施設の整備と公共施設の統廃合は

の作成に取り組み、経営の効率化を図る中、使用料の見直しについても、必要に応じて慎重に検討する。

面積が全国平均の2倍以上となっている。28年度に策定した「北杜市公共施設等総合管理計画」に基づき、施設の延べ床面積の削減や複合化・多機能化、民間などへの譲渡を進める。施設類型ごとの具体的な方針は、来年度までに策定する「個別計画」で明らかにする。本年度は、施設の劣化状況や利用状況の調査、市民ワークショップの開催などにより、市民ニーズを把握し、個別計画に反映できるようにしたい。本庁舎や総合支所は、防災体制を維持するための拠点としての機能も有していることなどか

ら、施設の特性を踏まえて検討する。  
**教育長** ①4月に工事を発注し、2学期のスタートから稼働している。  
 ②配線などの細かい変更はあるが大きな変更はない。温度設定や冬季の運用事例などを示した「空調設備運用指針」を学校に配布し、有効活用と経費節減に努めている。



エアコンが設置された教室

③生徒の健康管理は学校設置者の責務。早急な対応が求められており、学校統合問題とは別にとらえ、国の助成策なども視野に入れ検討したい。

地域包括ケアシステムは



井出 一司 (北杜クラブ)

問 ①介護保険者は市だが、独自性はあるか。

- ②介護認定平等性確保は。
③情報のない人の対応は。
④日常生活圏設定の内容と基本的考えは。
⑤被保険者の意見反映と担当者、有識者の調整は。

公平・平等性を確保

市長 ①公民館カフェなど、市内各地域で開催され、他市と比べても多い。
市民部長 ②調査員のレベルアップで公平・平等性を確保。
③支援必要者は個別訪問。
④地域の支え合いの仕組みづくりを推進している。
⑤介護保険事業計画策定委員会を設置し意見聴取。

地域雇用創造事業は

問 ①国内外に対する競



ジビエ料理

争力強化内容と提案は。
②人材活用の内容は。
③滞在型観光の育成セミナー内容と人数は。
④農作物や食品衛生知識習得セミナーの対象と人数は。
⑤ジビエ肉を更に活用は。

協議会と連携していく

産業観光部長 ①雇用創造協議会中心に事業推進。
②人材力強化や女性活用、養成講座も実施。
③観光コーディネート育成、10回開催で45人。
④農業担い手養成講座を開催、18人が参加。
⑤処理・加工できる人材育成を市として取り組む。

減災への取り組みは



秋山 真一 (北杜クラブ)

広い北杜市では、公助の力は限界がある。災害に備えた市民力が重要。
問 ①減災リーダーを増やす取り組みは。
②市民の意識と市民力向上を増やす取り組みは。

共助力や地域力を向上

市長 ②要配慮者の支援や地域内の声かけで、共助力・地域力を向上。
総務部長 ①平素から準備と訓練を行い、人材育成を目指す。

高齢ドライバー補助は

問 ①高齢ドライバーに安全装置装着車の補助を。
②足の確保、取り組みは。
連携し高齢者の足確保
企画部長 ①他自治体の動向を注視していく。

八ヶ岳観光圏事業は



秋山 俊和 (北杜クラブ)

問 ①市を訪れる外国人観光客の状況は。
②整備実施計画の内容とインバウンド誘客対策は。
③文化財活用の振興策は。

外国人観光客大幅増

産業観光部長 ①県の観光入込客統計調査で確認。
②宿泊サービス向上と滞在期間の長期化、外国人に特化した滞在プログラムの創出などに努める。
③多言語のHPやガイドブック作成し事業推進。

採択基準を検討

③寄付金増額対策は。
市長 ①市内特産24品、ガイドラインに沿って実施。
②魅力的資源はあるが、掘り起こしがされていない。
③採択基準検討や工夫。

増富地域交付金事業は

問 ①ともにあゆむ会、会報第7号の事業中止理由は事実と違うのでは。
②契約解除合意書内容は。
③事業中止理由は事実か。
契約解除合意書交わす
副市長 ①会報に記載の中止理由は事実ではない。
須玉総合支所長 ②相互に締結した契約解除合意書に、覚書の添付はない。
③再生協議会の強い意志を受け、事業中止はやむを得ないと判断、契約解除の合意書を交わした。



生命を守る知識を

ふれあい支援農道は

全面開通し交通量が増える。安全対策が重要。
問 ①甲陵高校南側交差点の信号機設置予定は。
②長坂団地南側交差点の信号機設置予定は。
③安全対策の検討会は。

地域要望を踏まえる

市長 ①②交通量など把握し、地域の意見・要望も踏まえ検討・要望する。
企画部長 ③通学路安全推進会議などを通じて必要な対策を講じる。

ふるさと納税は



注目の観光事業

問 ①品目数、返礼、ガイドラインとの整合性は。
②他市と違う課題は。

# 生態系保全の考えは



岡野 淳 (こまにあゆむ会)

- 問** ①明確な目標を持った植樹を考えているか。  
②樹種転換時の提言は。  
③希少昆虫の減少理由と把握・対策は。  
④生物多様性の保全は。

## 広葉樹林化も計画推進

- 産業環境部長** ①樹種の選択については、種類、成長年数などを考慮して、森林所有者と森林整備事業者とで決定している。  
②必要に応じて検討。  
③蝶の蜜源植物のニホンシカによる食害も影響、防除用電気柵を設置し保護に努めている。  
**生活環境部長** ④生物多様性国家戦略も参考に、国・県とも連携を図る。

## デマンド交通は

- 問** ①運営委員会の提案

に協力する業者に運行委託できないか。  
②スタート時からのPCオペレーションは必須と考えるが、見解は。  
**事業者の存在は不可欠**  
**企画部長** ①交通事業者の存在は欠かせない。新たな公共交通の実施に携わっていただくべきものと理解を得ていると考えられている。  
②交通体系の検討途中であり、事業者との協議も必要、導入事例などを参考にコスト負担も踏まえて検討したい。



エリアのイメージ

# 小淵沢駅について



野中真理子 (こまにあゆむ会)

- 問** ①夏休み中の人と車の流れは。  
②駅舎正面の車線間の杭が抜かれた理由は。  
③喫茶スペースは。

## 混雑緩和のため

- 建設部長** ①お盆期間中は混雑したが、人と車の流れは良好。  
②警察と協議し、乗降車両と通過車両の交錯を防ぐためポールを設置、その後混雑が見られポールを試験的に撤去。  
③設置予定はない。



人と車の流れは？

## 増富関係文書は

- 問** ①公文書である増富地域再生協議会（以下、再生協）の平成29年9月臨時総会資料が情報公開されない理由は。  
②文書の存在が隠された情報公開方法は問題では。  
③再生協とのメールが公開されないのはなぜか。  
④「契約解除の理由書」は誰が作成したのか。

## 非開示が適当と判断

- 総務部長** ②条例に基づき、適切に処理している。  
**須玉総合支所長** ①法人等の権利、利益を害するおそれのあるものとして非開示。再生協が非公開を決定している。  
③挨拶文などのメールは公文書に該当せず、不存在。  
④当時の増富出張所担当者が作成した。

# 水道管の防災対策は



清水 進 (日本共産党)

- 問** ①耐震診断と耐震補強を計画的に進めるべき。  
②ライフライン施設補強、耐震化と早期の計画は。  
③災害危険箇所対策は。  
④被災者生活再建法の支援対象拡大と要請を。

## 県に制度延長要望

- 建設部長** ①所有者に呼び掛け県に制度延長を要望。  
③点検個所選定し県と市がパトロール、崩壊対策事業や砂防事業などを継続して実施していく。  
**生活環境部長** ②水道管耐震化は施設改築や更新時に順次対応。  
**福祉部長** ④支給限度額引き上げは全国知事会で検討、動向を注視する。

## 法令に基づき適正導入

- ②相談窓口の設置は。  
③非正規市職員雇用安定と、適用に向けた準備は。  
**市長** ①市広報紙やホームページに掲載、パンフレットなどで制度の適切な運用が図られるよう周知に努める。  
②商工・食農課が問合せ窓口、雇用の具体的相談は、無期転換ポータルサイトなどを紹介している。  
③今回の法改正は、特別職非常勤職員・臨時的任用職員の任用要件の厳格化を図るもの、法令に基づき適正導入を準備。

## 無期雇用転換制度は

- 問** ①制度の市見解は。



厚生労働省のホームページ

不妊治療の支援は



保坂多枝子 (無党派)

問 男女共に不妊治療の支援を拡充する考えは。

市長 国の特定不妊治療費助成に、上乘せし実施。

市民部長 ①県の肝炎治療助成に、市は2分の1を助成。27年度をピークに減少。



子どもは未来地域の宝

肝友会の今後は

問 ①肝炎治療助成の実態と成果は。

②ウイルス性肝炎感染率は。

③肝炎対策の現状は。

④肝がんの死亡状況は。

⑤肝炎治療が必要な人は。

⑥治療終了者とフォローアップ体制は。

⑦患者を支える体制は。

⑧肝疾患コーディネート

1数は。

早期発見・治療に努力

市民部長 ①県の肝炎治療助成に、市は2分の1を助成。27年度をピークに減少。

②この2年間、いない。

③早期発見・治療を促進。

④28年12人。

⑤605人。

⑥148人。年2回検査

助成。

⑦保健指導と重症化予防。

⑧19人。

浅川兄弟の功績顕彰は

問 北杜の教育に活用する考えは。

功績を後世に伝える

市長 今後も、引き続き

広く伝えていく。

教育長 市を代表する先

人として、原っぱ教育で

伝えたい。

蔵原地区の信号機設置は



清水 敏行 (無党派)

問 ①市道開通後の交通量調査の予定は。

②公安委員会への要望は。

総合的に判断し要望

企画部長 ①国の道路交通センサスで利用実態調査、市は必要に応じ実施。

②現地調査し総合的に判断、公安委員会に要望。

③森林経営管理制度の準備と考へ方は。

④林業地域おこし協力隊支援策は。

里山整備を促進



国道結ぶよりよい道路環境を

薬師堂橋渋滞緩和は

問 ①抜本的整備を公安

委員会にお願いしたい。

②信号機の工夫や要望を。

さらなる対策が必要

建設部長 ①橋の拡幅を

含めた交差点の渋滞緩和対策も、県に要望する。

②通勤・通学時や観光シーズンなど、さらなる対策が必要。

市の林業対策は

問 ①市有林、県有林の割合は。

②里山整備の現状は。

③森林経営管理制度の準備と考へ方は。

④林業地域おこし協力隊支援策は。

里山整備を促進

市長 ②環境保全基金等を活用し、里山整備促進。

産業観光部長 ①県有林

66%、市有林0.9%、財産

区と私有林が33.1%。

③森林組合や民間事業者

との連携体制を構築。

④技術・知識を得、支援

機関などの就職に期待。

なぜブラックボックスの中で進めたのか



池田 恭務 (無党派)

問 ①ごみ処理施設建設場所候補地について、市民に事前説明せず、密室の中で進めたのか。南ア

ルプス市長は協議会へ推薦する前に、住民説明会

や賛否を問う意向調査を実施した。

②市長の政治姿勢か。

それぞれ推薦地を提出

生活環境部長 ①11市町

が非公開で持ち寄った。

②協議会の方針に従うのが市の意向。

市民に必要な情報が確実に届く仕組みを

問 市民からどのような要望があり、どう改善したか、市民が見ることはできるか。

公表にむけて検討

政策秘書課長 市民から

寄せられる要望等の公表

は、他自治体でも行っており、現在公表に向けて

検討を進めている。

見直しを行った

見直しを行った

教育長 日本図書館協会

が示す公立図書館の任務



決定過程に透明性を



北杜ふるさと探求隊「小学生議場体験」

# 声のひろば

## 多様性の中の共生



星 匠  
武川町

ぶら下げられた人參に踊らされなかつた沖繩県民の民度とは何か。沖繩県知事に当選した玉城デニーさんが、基本的理念とする「自立と共生と多様性」、そこに北杜市議会を感じる違和感の根源がありそうだ。

僕が見はじめてからの議会は過半数の取り合いで、少数派の意見が多数派の力に押しつぶされているようだ。

民主主義は多数決ではない。少数意見を尊重することで成熟していくのだ。少数意見とは個人の尊厳であり、ないがしろにすることは己の否定だ。今、共に生きる子どもと大人が平等な関係で話し合い、自然を破壊せず、資源を枯渇させず、私利私欲ではなく、未来の子どものために守るもの、直すもの、壊すものを考えて、多様性の中で共生してきたい。

## 20年後子どもたちに残す北杜市を



中川 弘一  
大泉町

毎朝、レインボーラインでスクールバスの停留所へ向かう小学生を見かける。いじめのない楽しい学校生活だろうか、地域の新鮮な野菜を使った温かな美味しい給食を食べているだろうか、日々の通学路は安全・安心だろうか。

都会の方々から住みたい田舎日本一に選ばれるのは嬉しい事ではあるが、それよりも今こ北杜市に住む子どもたちがいつまでも住み続けたいと思う自然豊かな、輝く仕事がある、魅力あふれる地域を残していくのが、今の私たち大人の大きな課題である。そのためには見直し、改めるべき、新たに築くべき多くの課題がある。それに向かい議会・行政と市民が手を取り合い、時に真摯に話し合い、真剣にひとつ一つの課題を解決せねばならない。

## 放課後子ども教室



矢崎 元子  
須玉町

北杜市の放課後子ども教室のコーディネーターを受け、12年経ちます。この教室は、放課後の子どもたちの安心・安全な居場所として、国と県と市が3分の1ずつ出し合った補助金で運営されています。スタッフは全員地域の方々で、活動内容は体験活動を中心に、家庭や学校では学べない内容になっています。立ち上げから6年目の平成24年には、活動が県や国に認められ、文部科学大臣表彰をいただきました。

理想的には1つの小学校にひとつの教室です。高根町以外は7町の小学校にそれぞれ放課後子ども教室があります。来年、高根町は統合で小学校が2つになります。2つの教室ができれば北杜市は100%になります。議会のご理解と応援をお願いします。

## 地域コミュニティー



小池 直木  
小淵沢町

小淵沢町に生まれ59年が過ぎます。年とともに価値観も変わり、地域に関心が向くようになってきました。

近年は人とのつながり（コミュニティ）が希薄になり、地域によっては、近所同士でもあいさつしない、隣に住んでいる人もよく知らない、という状況も多く聞きます。

いま私たちの身の回りで起こっている犯罪や事故などの中には、地域の見守りや支えあいがあれば、（完璧ではありません）防げるものがあります。周りの人たちのちよつとした気遣いや見守りのなかで、支え・支えられ暮らしています。地域コミュニティーの核となる地域組織の役割が重要であると思います。「うちの地域はよかつた」と、地域のみんが思えるようでありたい。

# 堰めぐり

北杜市は、水田地帯として発展してきました。古くから貴重な水を農業用水として活かすため、各地で川の途中や流水口で流水をせき止める堰が作られ、地域農業の礎となりました。今も堰は地域にとって大きな財産であり、美しい水のある風景をつくり出しています。

市内にある堰の一部を記載しています。

はったんぶせき  
**① 八反歩堰**  
(小淵沢町)



さんぶいすゆうあい  
**② 三分一湧水**(長坂町)  
※三角石柱を築き三方に分けた堰



おおばたけせき  
**③ 大畑堰**(大泉町)



むらやまろっかむらせき  
**④ 村山六ヶ村堰**  
(高根町)



げんたせき  
**⑤ 源太堰**(須玉町)



まきはらせき  
**⑦ 牧原堰**(武川町)



あそほせき  
**⑥ 朝穂堰**(明野町)



よこせき  
**⑧ 横手堰**  
(百州町)



次回の定例会は  
**12月**に開催する予定です  
12月定例会の様子は1月に  
CATVで放映予定です。  
ぜひご覧ください!



### 議会広報編集委員会

委員長	原 堅志	進藤 正文
副委員長	井出 一司	池田 恭
委員	栗谷 真吾	藤原 尚
	秋山 真一	藤原 功
	志村 清	藤原 功



### 編集後記

9月に開催された議会では活発な代表・一般質問の実施や、決算認定など重要議案が審議され、多くの方に傍聴にも来ていただきました。

現在の編集委員が担当する「議会だより」も今回発行分が最終号となります。市民の皆さまに親しんでもらえる紙面となるよう、議論を重ねながら編集に取り組んでまいりました。紙面へのご意見やご協力に感謝申し上げます。  
次号からも引き続きよろしくお願いたします。